

# 尾道グローバルラボ 塾生ルール①

～ 生活態度篇 ～

1. **あいさつはしっかりと。**「こんにちは」「よろしくお願いします」「ありがとうございました」「さようなら」のあいさつで気持ちを切り替えましょう。
2. **自転車をそろえる。**駐輪場が狭いのは申し訳ないですが、全員分がはいらなくなるので、ご協力お願いします。
3. **外で大きな声で騒がない。**隣はふうのお家です。あまりにひどいと塾ができなくなります。
4. **机の上は掃除して帰る。**「次の人」がいること、自分の前に「前の人」がいたことを考えましょう。
5. **食事休憩は原則として、所定の休憩場所にて取る**こと。また、食事休憩の時間はどんなに長くとも1時間以内に収めること。
6. **塾の中のものを壊さない、汚さない。**僕が直して、僕が掃除します。それを直す誰かがいることを想像できる人になって下さい。
7. **人が嫌がることはやめましょう。**やられた人が嫌がったらやめましょう。冗談とそうでないことの線引きをしっかりとすること。
8. **塾に「塾生以外」の人を連れてこない。**塾の建物内で何かあった場合、残念ながら友達  
の責任までは負えません。

たくさん言いましたが、覚えておいてほしいことは他の人の邪魔になることはしないということです。もちろん、人間である以上、間違っただけをやってしまったり、気をつけていたのに忘れることもあると思います。そんな時はちゃんと注意します。注意されたら自分で気づいて自分で直せる、そんな人と一緒に頑張っていきたいですし、一生懸命全力で応援したいと思います。

ちなみに、勉強が「分からない」ことを怒ることはありませんので安心してください。

## 尾道グローバルラボ 塾生ルール②

～ 学習態度篇 ～

9. 塾では、勉強する。勉強とは、今まで知らなかったこと、解らなかったことが解るようになるためにする（通常は苦痛を伴う）努力のことです。塾にただ「行って」いるだけでは、絶対に勉強はできるようになりません。塾から家に帰る時、塾に来る前には解けなかった問題が一つでも解けるようになったのであれば、それこそが勉強の成果なのです。このような成果の積み重ねがテストの「結果」に繋がります。
  
10. 勉強と作業の区別をしよう。ただ漫然と漢字や英単語を写経することや、プリントを切り貼りして綺麗なノートを作ることは、勉強ではなく「作業」と呼ばれます。作業は頭を使わないので、やっけていて非常に心地よいものです。また、それなりの成果物が出来上がるので、ややもすると勉強したつもりになりがちです。学校の課題などで、どうしてもそのような作業をしないといけない場合は、塾に少し早く来るか、居残りをするなどしてやってください。くれぐれも授業時間中にやらないこと。
  
11. 教科書を持ってくる。塾でやる科目の教科書は、原則として持ってきてください。教科書は最も基本的な参考書です。分からなくなった時、最終的に立ち返るべきは教科書なのです。また、学校の授業ですが、もし授業内容が塾で既に学習したものであったとしても、決して馬鹿にせず、基本を復習するつもりでしっかりと聞いてください。
  
12. 解らないことは必ずその場で質問する。少しでも解らないこと、納得できないことは忘れない内に必ずその場で質問してください。もし授業中に質問するのが恥ずかしいのであれば、授業の後にコッソリ質問してもらっても構いません。中学・高校の勉強は、解らないことをそのままにしておくと、必ず後でもっと解らなくなるようにできています。疑問は先延ばしにしないこと。
  
13. **Bad News First!** 「テストの点数が悪かった」「英検に落ちた」・・・このような bad news を先生に報告するのは気が重いものです。ですが、頑張ったにも関わらず結果が伴わなかったことに関して、先生が怒ることはありません。大事なのは、何故良い結果が出なかったのか、その理由を先生と一緒にしっかり分析して、次に繋げることです。結果に関わらず、定期試験・学力調査・民間検定などの点数・合否は、自分から進んで先生に報告してください。